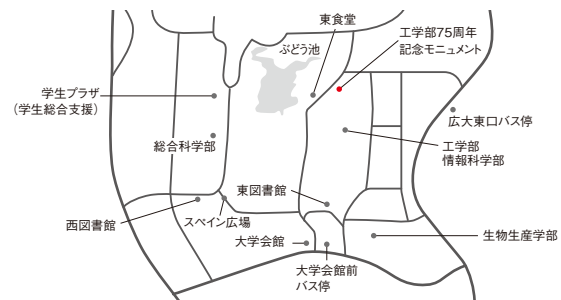


パシヤリ。広大



工学部75周年記念モニュメント(時計台)

文字盤や柱に7と5をあしらった時計台は、工学部の75周年を記念して設置されました。原爆にも耐えた前身校時代からの正門と共に工学部のシンボルとなっています。源流となる広島高等工業学校創立から100周年を迎える今年、さらなる飛躍に向けて新たな記念オブジェが加わります。



100年後にも世界で光り輝く大学へ

広島大学



編集・発行：広島大学 財務・総務室 広報部 広報グループ
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2 TEL:082-424-4383 FAX:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
<https://www.hiroshima-u.ac.jp>



HU-plus

August 08
2020

広島大学広報誌 vol.13
Hiroshima University Magazine

負けんけんね!
広大



[学長対談]

原爆の惨禍を越え400年—茶の心を未来へ脈々と。
茶道上田宗箇流家元 広島大学 学長

上田 宗問氏 × 越智 光夫

[第1特集]

新型コロナウイルスに立ち向かう

[第2特集]

広大×SDGs

ポスト・コロナの時代をどう生きるか

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るっています。世界の感染者数は1,800万人、亡くなった人は68万人に上っています(2020年8月3日時点)。日本でも発出されていた緊急事態宣言が5月25日に解除されたものの、第二波、第三波の流行への懸念は拭えず、私たちはコロナと共に生きていく道を歩むほかありません。

広島大学では新年度の入学式中止したほか、キャンパス入構禁止、対面授業の中止など、学生の皆さんにはさまざまな不便をお掛けしてまいりました。ようやく6月1日に行動指針のレベルを3(高度警戒)から2(要警戒)に落としたのに続き、7月1日からレベル1.5(要注意)に引き下げました。安心・安全なキャンパスで学生の皆さんが存分に学べる日を目指して、教職員一同、全力で支援してまいります。

新型コロナウイルス流行の影響で生活が困窮している学生を支援するため広島大学の教職員に対して4月21日から全国に先駆けて「応急学生支援金」の呼び掛けを行いました。このニュースをご覧になった多くの卒業生、保護者、市民の皆さまからも、励ましのお言葉と共に温かい支援を賜ることとなりました。6月15日までの募集期間に卒業生や一般の方も含め1,173件、59,211,000円にも上るご寄付をいただき、延べ841人(2020年8月3日時点)の学生に1人月額3万円を支給しました。すでに2回目の支援を受けた学生も徐々に増えてきています。ご支援賜りました全ての方々に、心よりお礼申し上げます。

オンライン授業に全学を挙げて取り組み、4月8日から開始しました。新入生は少し遅れましたが、4月15日には実施できる体制を早急に整えました。試行錯誤しながら積み重ねた貴重な実践だけに、コロナ流行が収まったらまた元のやり方に戻すというのではありません。ポスト・コロナ、ウィズ・コロナの時代ではネット環境を十分に整え、新しい授業体制を模索すべきであると考えています。

例えば、インターネットを通じて世界各国の著名な大学の授業を無料で提供する大規模公開オンライン講座MOOCs(Massive Open Online Courses)が注目されています。コロナ禍が収束した後は、こうしたオンライン授業が日本全国で新たなスタンダードになっていくのではないのでしょうか。

歴史家のニール・ファーガソン氏は「ネットワークはあらゆる類いの伝達を増幅します。デマも悪意も病理ウイルスもサイバーウイルスもネットに乗れば、感染を広げる。ネット世界は不安定と脆弱を内包している。コロナ禍はこの負の側面の表れです」とインタビューで述べています(2020年4月12日付読売新聞)。国全体で取り組む問題ではありますが、ネットワーク活用の流れを止めることはできません。

ソーシャルディスタンス(社会的距離)という言葉が示すように、従来とは異なる生活スタイルに慣れていく必要もあります。「新しい日常」が始まる中で、ポスト・コロナの時代は世界と人のネットワークのありようを、また、社会全体の方向性をあらためて問うていると思います。

越智 光夫

How should we live in the post-coronavirus era?

The novel coronavirus has spread like wildfire across the world, with the total number of globally confirmed cases having exceeded 18 million and the death toll having risen to more than 680,000 (both figures are valid as of 3rd August 2020). The Japanese government lifted the State of Emergency on 25th May 2020, but real concerns remain about possible 2nd and 3rd waves of the pandemic. That means that we will have to co-exist with this virus for many years to come.

Under such circumstances, HU had no choice but to inconvenience all of our students; for example, we had to cancel the 2020 academic year entrance ceremony, implement a no-entry-to-campus policy, and suspend all on-campus classes etc. Finally, from 1st June 2020, HU's alert level was reduced to Level 2 (Exercise caution) from the previous Level 3 (High alert). Then, from 1st July it came down to Level 1.5 (Be careful). All faculty and administrative members of HU are united, committed to supporting all students until everybody is able to make a safe, secure and focused return to on-campus classes.

HU was amongst the quickest of the universities in Japan to respond to the crisis by launching its 'Emergency Aid for HU Students' to its faculty and administrative members on 21st April 2020. After the news about the Aid was broadcast, many alumni of HU, parents or families of HU students, and the citizens of Hiroshima gave us warm words of encouragement and kindly donated money to the Aid.

This financial support was for those HU students who have been under financial strain caused by the virus outbreak. When the donation period ended on 15th June, 1,173 individuals (HU alumni and the general public), had generously made donations amounting to 59,211,000 yen. This has amounted to 30,000 yen per month to each qualifying individual, and so far, a total of 841 students (as of 3rd August 2020) have received this financial support. The number of aid recipients who have received a second round of financial support is also increasing. I would like to express my deep gratitude to those people who have generously contributed money.

After making a concerted effort across the whole university, HU was able to commence online classes (live-streaming lectures or on-demand lectures) from 8th April 2020. Belatedly, HU started to provide online classes with newly enrolled students from 15th April 2020, by promptly installing an online class system. I think that we cannot simply put all live streaming lectures/on-demand lectures back to their former teaching method once we have seen the end of the outbreak of the novel coronavirus. Instead, I think that we should first aim to establish a sufficient level of internet access and start exploring a new system of conducting classes at higher education institutions in the post-coronavirus era of Japan.

For example, a massive open online course (MOOCs) has been drawing attention in recent years. This is a Web-based educational offering, in which participating students have access to lectures provided by globally renowned universities free of charge. I somehow feel that an open online course like MOOCs is going to set a new standard among universities in Japan.

In his online interview with the *Yomiuri Shinbun* newspaper (the 12th April 2020 morning edition), Niall Ferguson, an historian and Harvard Professor, said the following: "highly integrated networks can amplify the rate and extent of an item being disseminated; be it fake news, human viruses, or malware computer viruses. Once any of them is on the networks, it can spread across them in no time. The networked world is intrinsically unstable and vulnerable. So, the calamity caused by the novel coronavirus has just shown the downside of networks." An issue like this should be addressed at a national level; no one can stop us from becoming a networked society.


As the expression 'social distancing' shows, we also need to start accommodating ourselves to a completely different lifestyle. While the 'new normal' is becoming established as part of our daily life, the post-coronavirus era seems to be leading us to question once again how the networks between individuals and the world should be structured, and in which direction our society as a whole ought to be heading.

Niall Ferguson



Hiroshima University Magazine
広島大学広報誌 HU-plus(エイチュー・プラス) vol.13





【Hiroshima University】の魅力や情報をあなたに“プラス(+)", 【HU】とあなたが“つながる(+)"という願いを込めて。

 カミガキヒロフミ氏による、広島大学のキャンパスを描いた作品「広島大学 知のワンダーランド」。実はひろティーも登場しています。ぜひイラストの中を“探検”して、本学のさまざまな一面を発見してください。


CONTENTS

- 01 散詩語録
- 03 学長対談
茶道上田宗箇流家元 上田 宗問氏×
広島大学 学長 越智 光夫
- 07 第1特集 新型コロナウイルスに立ち向かう
- 09 第2特集 広大×SDGs
- 11 学問の探求
吉永 信治 教授 原爆放射線医学研究所 放射線影響評価研究部門
川野 徳幸 教授 平和センター
- 13 AERAが書く、研究者の素顔
小林 信一 特任教授 大学院人間社会科学研究所/高等教育研究開発センター
- 15 チーム広大潜入REPORT
河本 健 特任教授 広島大学ライティングセンター
佐藤 陽子 看護部長 広島大学病院 看護部
- 17 ぶちおもしろい広大講義
vol.5 輸送システム工学実験・解析法
- 18 世界へのまなざし
廣瀬 詠太郎 さん 総合科学部/SEBALOO さん 大学院工学研究科
- 19 学生レポ!私も広大です
渡辺 豊 さん ルーチェサーチ株式会社 代表取締役/新久 千映 さん 漫画家
- 21 キャンパスNOW
多彩な広大グッズはいかが?
- 22 HIRO-DAI HEROES
三輪 響 さん 総合科学部/北野 杏歩 さん 工学部
- 23 HU-style
vol.13 STAY HOME うちで何してた?
- 25 HU TOPICS
- 27 つながる!ひろがる!ひろしまの輪
学生ボランティア団体アイリス
さんさん教室(特別支援教育実践センター)
- 28 Reader's View/読者プレゼント
- 29 広島大学への寄附・基金

広島大学SNS

-  広島大学(Hiroshima University)
-  @Hiroshima_Univ
-  広島大学入試
-  広大PV

Instagramで
キャンパスの日常を
配信中



原爆の惨禍を越え400年— 茶の心を未来へ脈々と。

茶道上田宗箇流十六代家元

広島大学 学長

上田 宗岡氏 × 越智 光夫

特別講義「世界に羽ばたく。教養の力」の講師として
教壇に立っていただいた上田宗岡氏と越智光夫学長が対談。
茶道の家元として受け継いできた精神と伝統文化についてお聞きし、
現代を生きる皆さんへのメッセージをいただきました。



毎週1回茶室に変身

越智：今回は、対談を実現できて光栄です。まず、子ども時代をどのようにお過ごしになったかお聞かせいただけますか。

上田：母が鷹野橋（広島市中区）の商店街に小さな店を出しておりまして、その2階の住居で、母と兄と姉と私の4人で暮らしていました。小学校の入学前くらいから12年間ほどです。母の実家が上田家で、その頃に先代家元である伯父に茶道を習い始めました。下町のガキ大将

だった私がおのまま成長してしまうことを心配したんでしょうね。ある日、母が2階の1室に炉を切りました。寝室、食事室、勉強部屋を兼ねていた8畳の部屋を、毎週1回茶室として

使ったんですよ。

越智：普段生活されている空間が突然、茶室になったんですね。

上田：部屋には小さな床の間があって、花を飾ると部屋の雰囲気ガラッと変わるんです。日常空間からその都度変身するような茶室で茶をやっていたので、どんなところでも茶室の空間を作る自信があるんです。

越智：日常と非日常をスイッチする感覚が培われたんですね。その後、修道中学校・高等学校、慶応大学経済学部に進学されて、広島銀行にお勤めになりました。

上田：同じ慶応大学出身で東京に残る兄に、「大学卒業後は広島に帰れ」と言われました。当時は高度経済成長期で、あちこちの人事担当から声が掛かりどの会社にも入れるような時代でしたが、故郷の広島銀行に入行することにしました。

越智：上田宗箇流を継ぐことを決められ



新型コロナウイルス感染症の影響で、講演はオンデマンド配信

たのはいつ頃ですか？

上田：就職を決めたものの、上田宗箇流の先代家元に継承者がおらず「お茶をするならぜひ上田家に」と前々から声を掛けられていました。お茶は長く取り組んでいて好きでしたし、歴史のある家をつぶすわけにはいかなあと思いました。ただその時は茶を生業にする人生が送れるかどうか、自信がなかったのです。銀行の業務も面白かったので、20代後半で上田宗箇流を継いで、上田姓に変えてからも3、4年はそのまま勤めました。退職し茶道に専念すると決意したのは31歳の時です。



静かな心こそ茶道の根幹

越智：茶の湯やその起源についてお聞かせください。

上田：茶の湯は戦国時代にルーツがあり、心の静けさを取り戻すものとして武人にもたしなまれました。言葉では伝えにくい

上田宗箇流家元 上田 宗岡

うえだ・そうけい／1945年生まれ。広島県広島市出身。慶応義塾大学経済学部卒業後、広島銀行に勤務。1995年上田宗箇流家元を継承。各地の茶室などを監修。国内のみならず海外でも講演・茶会を多数行う。2008年広島市民賞受賞。2009年中国文化賞受賞。2015年広島市被爆70周年記念事業で上田宗箇流平和公園茶会を行う。

自分に執着しない、他の人に耳を貸す

柔軟な心を持ってほしい。

teachではなく

assistあるいはcoachすること。

茶の根幹は教育にも通ずる。

広島大学 学長 越智 光夫

おち・みつお／1952年生まれ。愛媛県今治市出身。広島大学医学部卒業後、整形外科に入局。1995年鳥根医科大学教授に就任。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授に就任。2007年～2011年まで広島大学病院長。2015年から現職。2012年に中国文化賞、2015年に紫綬褒章を受章。



のですが、茶というのは、自分の立ち居振舞いと、庭や建物といった空間、扱う道具など全てを含んだものです。

越智：上田宗箇流の茶風や、その魅力についてお教えいただけますか。

上田：特徴としては、空間を移動するという点があります。客人は、外露地、内露地と呼ばれる茶室の庭から「遠鐘(えんしょう)」という数寄屋へ移動します。さらに次の茶室への移動があり、日常の書院空間でもてなされます。これは、戦国時代から平和な時代へ世の中が変わった際に、茶の湯という非日常と日常をつなぐ必要があったからでしょうね。このように、屋敷の中を移動することで、茶だけで終わらない最高のもてなしを作り上げ継承してきたのです。

越智：死を覚悟して戦場に赴いた戦国時代に、ゆったりとした空間で内省し、自分自身を取り戻す効果を得られたのが茶の湯だったのですね。上田宗箇流のルーツは武家茶道ですが、江戸時代初期に模索された平和な時代のお茶の在り方が現代に伝わっているのですね。

上田：茶室は内省の空間であり、茶の湯の原点はお茶を一服飲むことを通して静かな心で時間を過ごすことです。騒がしい日常から静かな空間に移動して自分を取り戻し、また戦場へ戻っていくような武家茶道のあり方が、上田宗箇流の根幹であり魅力だと思います。戦国時代のように常に生死の危機にさらされるわけではありませんが、ある意味では、現代社会も緊張



遠鐘へ続く内露地(上田流和風堂)

にさらされ続ける戦場のようなものです。だからこそ、茶の魅力が理解され、継承されているのではないのでしょうか。

越智：内観する意義は現代社会にもあるということですね。岡倉天心が「茶道の要義は不完全なものを崇拜するにある」と言っています。どのようにお考えですか。

上田：岡倉天心の『茶の本』はとても良い本ですね、私も少し時間があれば目を通しています。岡倉天心が言っているのは、茶の湯とは、日本人が日常生活を美しく生きるための美の宗教である、ということです。宗教とは生き方という意味合いだと理解しています。五感が刺激されると静かな心がもたらされ、自分の内に目が向きます。その体験を洗練したものが茶の湯です。できるだけ自分を見失わずに日常生活を送りたいものですが、静かな心になるには、自分が日々をどう生きたいかという根幹の部分に自覚がないといけませんね。

「日々静かに向かい合う」

越智：静かな心を持って日常生活を送るのが非常に重要というお話を聞いて思い出しましたが、『幸福論』を著したカール・ヒルティという哲学者がいます。仕事がいかに重要かを説き、それをルーティンに取り入れることが幸せに通じる、という言葉を残しています。多くの人にとって一日一日をどう過ごすかは、自分の仕事にどう取り組むかということです。

上田：自分が求めるものを少しでも得ようと努力して一日一日を過ごすのが理想です。このような日々の研鑽をするには、やはり静かな心がないといけません。他人と優劣を競うばかりでは、静かな心で自分自身を見つめられません。

越智：講演でも、「でき合いのメジャーで測らない」ということを強調しておっしゃっていましたね。静かな心になるためには、自分自身の判断基準をしっかりと持って、みだりに自分と他人を比較しない

ことが重要なのですね。

上田：自分の得手不得手や独自性を自覚し、自分の仕事に向かい合ってほしいです。

「今一つあれ」の心意気と教育

越智：上田さんが講演で紹介された「花は今一つあれと思う程に」という言葉が心に留まりました。

上田：いい言葉ですね。武野紹鷗という戦国時代の茶人の言葉です。花をもう一輪足して満点を目指すのではなく少し抑えることで、鑑賞者はその余白に感情を移入し、それぞれの美しさを見いだすことができる、すなわち無限のバリエーションの美しさが宿るのですよ、ということです。自分の思う完璧を押し売りするのではなく、相手の独自性を引き出すことが重要なのです。

越智：岡倉天心の不完全なものを崇拜する態度と重なりますね。教育にも通ずるところがあると思って拝聴しました。教育者は、自身の考える100点の基準を押し付けてteachするのではなく、assistあるいはcoachをするべきでしょう。相手が持つ独自の才能を開花させるのです。だから「今一つあれ」と思っても、教えるのは7、8割に抑えて、自分で考えさせるということでしょう。

上田：100点を取ることもできるけれど抑えて80点を取る…というのはとても高度な文化ですね。

越智：本当は全部教えたい気持ちがありつつも、そうしないためには、コーチとしての自分を抑えないといけないわけですね。

「平和を想い、文化をつなぐ」

越智：今年は被爆75年で、原爆や平和に対する思いをお聞かせください。

上田：原爆は、私にとって大変大きな意味があります。父と祖父母が原爆で亡くなりましたし、現在ご縁のある広島在住の



方々もご自身や周りの方々が被害に遭われています。平和のことを話すと心が熱くなり、できることはしなければと、いつも思っています。

越智：例えば、どのような取り組みですか。

上田：上田宗箇流が受け継いできた伝統文化を、現代にも通ずる形で再構築し、地域のために還元していくことです。1983年日米市長及び商工会議所会頭会議が広島で行われたときに、来賓をお連れするような場所がないという話になりました。広島は中心地が原爆で被害を受けたので、それまでの文化を示すような建物が無くなってしまっていたわけですね。ちょうど、明治時代初期まで250年間構えていた上田家上屋敷を、和風堂として再構築を始め一段落したところでしたので、その和風堂にお連れすることになりました。

越智：平和に対して文化面からアプローチされているのですね。

上田：世間の風潮としても、街の中に歴史や伝統文化が必要だという声が聞かれるようになりました。実は、広島市の重要文化財のなかで、古文書の6割強は和風堂が所有しており、美術工芸品も1,300点ぐらいあります。江戸時代250年間の古文書や工芸品をまとめて持っているのは広島城でも県立美術館でもなく、和風堂なんです。和風堂と行



政がどう協働して、市民の皆さんに広島の歴史を知ってもらるか、広島の歴史が大事だと思ってもらうか。それを考えて実行することが、私の大きな仕事だと思っています。

越智：広島歴史や平和への願いを語り継ぎたいという思いは私たちも同じです。広島大学も、ピース・レクチャー・マラソンの取り組みで在京大使や各国政府代表者に講演していただくなど、平和に関する活動を行っています。

「自分らしく修練と社会貢献」

越智：上田さんは、大学で学ぶべきことは何だとお考えですか。

上田：大学は、修練と社会貢献の重要性に学生が気付く場であってほしいです。初心を忘れずに創意工夫をし続ける人間には花が

あると世阿弥が言ったように、人間は一生学び続ける存在です。また、そのような修練で身に付けたことを社会に還元することも大切です。広島大学は、優れたリーダー人材を国内だけでなく世界へ輩出するような大学だと思っています。

越智：ありがとうございます。最後に学生にメッセージをお願いします。

上田：修練や社会貢献をするにも、自分に執着しすぎず他人の声に耳を貸す柔軟な心が必要です。そのためには、自分の独自性、つまり得手不得手、特に自分の得意技を明確につかんでほしいと思います。欠点はせいぜいカバーすることぐらいしかできませんし、他人と相互に補完すればいいのです。そして、一日一日を静かな心で過ごしてください。

越智：今日は貴重なお話をありがとうございます。ありがとうございました。

武家茶道・上田宗箇流のルーツ

上田宗箇流とは、戦国時代に豊臣秀吉の側近として数多くの武勲を立てた武人・上田宗箇による茶道の流派です。宗箇は千利休、次いで古田織部と親交を深めて茶の湯を学びました。1619年に浅野長晟に従って広島入りし、広島県西部を一万七千石で統治。以降、宗箇の茶の心は広島で代々受け継がれています。

武家茶道の特徴として、点前が直線的である点や、柄杓や帛紗などの道具の扱い方が独特な点が挙げられます。これは、茶道の所作の中に武人の立ち居振る舞いの名残が見られるためです。例えば、柄杓で湯水を汲む動作には馬上から弓矢をつがえる動作が、帛紗を右の腰につける振る舞いには刀を差していた習慣が表れています。

礼や点前の作法において、男女で異なる部分があるのも特徴的です。男性は男性らしく、女性は女性らしく振る舞うことで、それぞれの凛とした美しさが引き立ちます。



新型コロナウイルスに立ち向かう

全世界に甚大な被害をもたらしている新型コロナウイルス感染症。在学生や教職員の安全と安心のために、そして大学の知を社会に還元するために、広島大学ではさまざまな取り組みを行いました。4月から6月までの実施状況をご紹介します。

01.学内での対応

危機管理対策本部会議を設置し、「感染拡大防止のための行動指針」を策定

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本学でも4月2日に学長を本部長とする「広島大学危機管理対策本部」を設置し、毎週開催。状況に応じたレベル0～5の行動指針を設け、教育・研究活動や課外活動など、行動の自由が大幅に規制される未曾有の事態においても、学生および教職員が適切に活動することができるようにしました。さらに、刻々と変化する状況下で、必要な情報を分かりやすく迅速に届けるた

めに、大学公式サイトの目に付きやすい箇所に新型コロナ専用のページを開設。新入生向け、海外にいる留学生向けなど対象者に合わせて情報を発信しています。また、授業や健康管理に関する情報にアクセスできるリンクを貼るなど、必要な情報を1ページに集約し、最新情報伝達のスマート化を図りました。広島大学に関わる方々の心と体の健康を守るために、情報の集約・発信を今後も行っていきます。

新入生へのメッセージ動画

5月1日、新入生に向けたメッセージ動画を公開。例年とは異なり、対面授業や課外活動に参加できず孤独や不安を抱える新入生に向けて、教職員や先輩から応援メッセージが贈られました。新入生の不安を和らげるとともに、広大生としての連帯意識を感じさせる心のこもったメッセージ動画で、学部ごとにさまざまな工夫がされています。例えば、文学部では疫病の歴史に触れ、教育学部ではオンライン授業について言及するなど、各学部の特徴を生かしたアカデミックな内容になっています。



医学部バージョン

安全に食を提供する

感染予防に努めながらも食事提供を続けるために、食堂ではさまざまな取り組みを実施しました。手洗い・消毒の励行や、入場制限や席数削減による人と人との距離を空ける取り組みはもちろん、外気に触れる時間を短くするためにテイクアウト容器による食事の提供などの工夫を重ねました。食堂内での飲食は一時期、感染防止のため禁止となりましたが、テイクアウト販売は継続することで、大学関係者の健康を支えることができました。



- 図書館書籍の宅配貸出サービス
- オンライン新入生勧誘行事
- Skypeを用いたキャリア相談



- 体育会会員による全国の中高生・大学生に向けたメッセージ動画の公開
- 役員らが選ぶ推薦図書(映画)一覧の掲載



02.研究・社会貢献

コロナウイルスに関連する3つの研究がAMEDの事業採択へ

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業(実証・改良研究支援)」に、広島大学の3つの研究が採択されました。全ての分野で採択されたのは全国で広島大学のみです。AMEDは、医療研究開発に対して人材、資金などの支援を行う組織。採択され支援を受けることにより、コロナウイルス関連の研究が加速し、一日でも早く成果が市中に還元されることが期待されます。

1. 医療機器・システム等の実証研究支援

研究開発代表者:大学院医系科学研究科 細胞分子生物学 田原 栄俊 教授
検体前処理過程、PCR検査の迅速化を図り、今後の多検体対応を可能とする研究。

2. 医療機器・システム等の改良研究支援

研究開発代表者:大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 志馬 伸朗 教授
患者への接触なしに、呼吸の様子から重症化の兆候を捉えるシステムを開発・製品化へ。医療従事者への感染リスクを抑制しつつ迅速かつ確かな処置・介入を可能とする研究。

3. 既に開発・上市されている機器等の有効性の確認を行う研究支援

研究開発代表者:広島大学病院 感染症科 大毛 宏喜 教授
人体に安全とされる222nm紫外線照射装置を用いて、環境中のウイルスを不活化させる製品の開発を目指す研究。

教員によるエクササイズ動画を公開

広島大学スポーツ科学センターの教員が、運動や健康に関する紹介動画を公開しました。家にこもりがちな在宅勤務・外出自粛期間に、心と体を健康に保つ適度な運動を促す取り組み。座る動作、デジタルデバイスを使う際の姿勢など、タイムリーなテーマで展開しています。動画の内容はいずれも大学の研究成果に裏付けされたもの。例えば、免疫細胞や血液、人体に欠かせない組織を作っている骨は、負荷・振動などの刺激を加えることで強くなり、免疫力向上や健康の増進に効果があります。ご家庭で簡単にできるので、ぜひ実践してみてください。



学生がテイクアウトマップアプリを開発

4月28日、コロナ禍で深刻な影響を受けている飲食店を支えるため、東広島市でテイクアウトを実施する飲食店の情報を集約したアプリが開発されました。開発したのは、起業部に所属する工学部4年小泉鴻一さんと先進理工系科学研究科博士課程前期1年の中野瑛登さん。2018年の西日本豪雨災害で、臨時バスや営業店舗に関するマップアプリが活躍した事例を知り、このアプリを構想しました。先行事例のオープンソースや知見を活用し、まちづくり団体などと連携したことで、6日間という短期間で開発が可能に。ユーザー目線で使いやすいと好評です。



応急学生支援金

たくさんのご支援ありがとうございました

広島大学は全国に先駆けて、令和2年4月21日から6月15日の間、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活が困窮し、困っている学生を救うための「応急学生支援金」を募集しました。多くの皆さまから励ましのメッセージと共に多大なご支援を賜り、心より御礼申し上げます。おかげをもちまして、経済的に困窮した学生への支援金給付を順次行うことができいております。引き続き広島大学では困窮する学生の支援として「修学支援事業基金」を募集しております。今後とも力強いご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

1,173件 / 総額 59,211,000円 支援件数 延べ841件(継続支援中)

※2020年8月3日時点 ※寄付者のご芳名はP29をご覧ください

支援を受けた学生からの感謝の言葉

県外からの新入生です。4月からアルバイトを探していましたが、なかなか募集が見つかりませんでした。そのため、自身の貯蓄を切り崩しながら生活しており、この状況が続くと思うと、生活への不安が大きく、リモートでの授業にも集中できない状態でした。幸運にも広島大学の支援金を受け取ることができ、とりあえずの生活への不安を取り除くことができました。おかげで勉強に集中する環境を整えられました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

(理学部 新入生)

コロナウイルスの影響でアルバイト先の教育施設が休業となり、収入が全く無くなってしまいました。宿舎の費用は何とか賄うことができましたが、食費に回すお金がなく、本当にその日の食事に困ってしまうような状況でした。今回いただいた3万円を食費に充て、生活が立ち行かなくなる事態を避けることができました。支援金が無ければ、とても生活ができていなかったと思います。本当に助かりました。ご支援いただいた皆さん、ありがとうございました。

(大学院教育学研究科 留学生)

4月に人間社会科学部研究科へ入学しました。広島へ引っ越してきた後、アルバイトを探したのですが、結局見つかることができず、4月、5月は収入がない状況でした。授業料は奨学金で何とかりましたが、生活費が賄えず、応急学生支援金を申請しました。結果的に2カ月間支援していただき、食費に充てることができました。支援金があるかないかでは、本当に大きな違いがあったと実感しています。ご支援いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

(大学院人間社会科学部研究科 新入生)

寄付者からのメッセージ

- 学生の皆さん、しっかり勉強できるよう支援していきたいと思っておりますので、諦めず今の状況を乗り切ってください。
- コロナウイルスに負けるな!頑張れ!広大生!
- 微力ながら、先輩の皆さまの生活の足しになれば幸いです。貴重な大学生活を、不安な中過ごしていると思うと胸が張り裂けそうなんです。授業も部活動も、たくさんやりたいことができる、素敵な大学生活が早く戻ってくるよう祈っています。
- 大変な時期だと思いますが、大学生活で勉強だけでなく、様々なかけがえのない経験をしてください。
- この苦しい日々が終わり、この経験を糧に広島大学がさらに躍進する日が一日も早く訪れることを心から祈念しております。

広島大学と東広島市が一体で取り組むまちづくり

2020年1月、広島大学は東広島市と「Town & Gown 構想」を推進することで合意に至った。同構想は、欧米の事例を参考にしたもので、都市（タウン）と大学（ガウン）が一体となって魅力的な街づくりに取り組む一大プロジェクトだ。4月には学内に「Town & Gown Office 準備室」を設置。市と大学を横断した組織体制を築き、構想実施の準備に取り組む。

構想では、教員の研究・講義テーマと市の14ある部局をマッチングする「COMMONプロジェクト」や、データに基づいた政策決定に取り組む予定。幅広い専門性を備える総合大学の強みを生かし、AIやビッグデータを活用しながら、個別の課題解決にあたる。

また、海外の優秀な人材の誘致や若者の起業支援も積極的に行う。外国



人との混住地区を開発すると同時に、起業しやすい仕組みを整えることで、世界から意欲ある若者を集め、頭脳循環を起こす狙いだ。

今後の意気込みについて、「多様な人々と共生する社会では、ダイバーシティの考え方が重要になります。都市



高垣市長(左)と越智学長(右)

の経済的な発展だけでなく、生活する人々の満足感、充実感も追求していきたい」と語る越智光夫学長。これに対し、高垣廣徳市長は「外国人が東広島で能力を発揮し、活躍できるような制度・仕組みを整えたい。そして、海外の起業家も巻き込みながら最新技術を取り入れた、インターカナルチャーなスーパーシティを目指したいですね」と意欲を示す。

本構想が成功すれば、大学と地方都市が連携した、持続可能な地方創生のモデルとして期待されそうだ。

第2特集 広大 × SDGs

2015年9月、国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」を盛り込んだ「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。SDGsでは、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、2030年までに地球全体で取り組むべき17の目標と169のターゲットを掲げています。広島大学でも、SDGs達成に向けて、研究や社会貢献などさまざまな取り組みがスタート。その一部をご紹介します。

独自の教員活動指標を用いて 貢献度を見える化

広島大学は、IRを活用した大学経営のために開発した独自のAKPI®(目標達成型業績指標)に、SDGsの17のゴールを紐づけ、教育活動や社会貢献活動を含めたより広い視点で教員の活動を捉える試みを行っている。具体的には、教員の学術論文とSDGsキーワードをマッチングさせ、各教員のSDGsへの関わりを評価。算出したSDGsへの関与割合と2018年度のAKPI®ポイントを掛け合わせている。

教員の活動をSDGsに基づいて数値化するのは全国でもユニークな取り組みで、AKPI®を使って過去にさかのぼれるというのが最大の特長だ。2012年度からの経過を見ると、教員一人当たりの貢献度は徐々にアップしており、2018年度は2012年度の617.5ポイントに比べて103.9ポイント高い721.4ポイントとなった。今後は、より丁寧な分析や正確なマッチング方法を検討し、精度の向上に取り組んでいく。



学生・教職員は高い関心 意識調査を実施

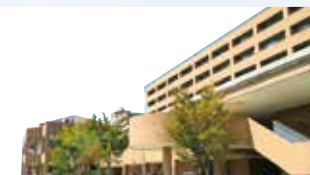
2020年2~3月、山根友美研究員が広島大学の学生、教員、職員を対象に大規模なSDGsの意識調査を実施した。調査は、日本語と英語の2カ国語で作成し、インターネットアンケートを利用。2019年に続いて2回目となる今回は、1,039の有効回答が集まった。

調査結果によると、2020年の広島大学におけるSDGs認知度は、学生85.1%、職員73.8%、教員82.2%。特に学生の認知度が急上昇し、2019年56.6%から28.5ポイントもアップした。また、約80%がSDGsに積極的に取り組みたいと回答。半面、実際に研究や教育に取り入れている人は、その3分の2にとどまった。自分事として捉えている割合がまだ少なく、SDGsへの高い関心を、構成員一人一人の活動につなげていくことが重要となる。



広島大学の取り組みが評価されました!

THE大学インパクトランキング2020



昨年より大きくスコアを伸ばし、国内総合4位に

4月22日、イギリスの高等教育専門誌『Times Higher Education』が「THE大学インパクトランキング2020」を発表した。広島大学は、総合スコア75.4-83.3、世界順位101-200位の評価を受け、昨年の総合スコア53.7-64.5、世界順位201-300位からスコア、順位とも躍進した。目標別に見ると、目標6(安全な水とトイレを世界中に)が20位、目標9(産業と技術革新の基盤をつくろう)が52位、目標12(つくる責任つかう責任)が60位、目標11(住み続けられるまちづくりを)が65位、目標3(すべての人に健康と福祉を)が98位と、SDGs17項目のうち5項目で世界トップ100入りした。

また、国内では目標4(質の高い教育をみんなに)と目標6(安全な水とトイレを世界中に)、目標11(住み続けられるまちづくりを)の3項目でいずれも1位を獲得。総合スコアでも北海道大学、東京大学、東北大学に次ぐ4位となり、昨年の14位からアップした。

国内順位	世界順位	大学	総合スコア
1	76	北海道大学	85.3
2	77	東京大学	85.1
3	97	東北大学	83.7
4	101-200	広島大学	75.4-83.3
4	101-200	京都大学	75.4-83.3
4	101-200	立命館大学	75.4-83.3
4	101-200	筑波大学	75.4-83.3
4	101-200	早稲田大学	75.4-83.3
9	201-300	名古屋大学	68.2-75.3
9	201-300	名古屋市立大学	68.2-75.3
9	201-300	岡山大学	68.2-75.3
9	201-300	信州大学	68.2-75.3
9	201-300	山口大学	68.2-75.3

4 質の高い教育をみんなに
6 安全な水とトイレを世界中に
11 住み続けられるまちづくりを

3つのゴールで **国内1位**

THE大学インパクトランキングとは?

大学の社会貢献度をSDGsに基づいて評価した世界ランキング。教育や研究力を重視する従来とは違い、社会貢献を指標にした新しい大学ランキングで、各大学は強みとなる目標を選んでエントリーできる。総合スコアは、得点の高かった3つの目標(目標17を除く)の得点と目標17の得点を組み合わせるもので、個別の目標ごとのランキングも発表される。

<https://www.timeshighereducation.com/>

NERPS拠点長よりメッセージ



平和で持続可能な社会を 学術面から支える

大学院人間社会科学部 教授
NERPS拠点長/副学長(グローバル化推進担当)
金子 慎治

今回のTHE大学インパクトランキングは、広島大学の研究力と地域連携が大きく評価された結果だと考えています。特に「Town & Gown 構想」をはじめとした東広島市と一体となった取り組みは、今後も大きくスコアを伸ばせるプロジェクトとして期待しています。

本学のSDGsに向けた取り組みは「FE・SDGsネットワーク拠点(NERPS)」が中心的役割を担っています。SDGsの拠点と言うと、啓発や広報活動を担う機関が多いですが、NERPSは国際的な研究拠点を目指しているのが特徴です。特に平和と持続可能性について学際的な視点から考える超学際研究「Peace and Sustainability」の推進に力を入れており、この1年間でNERPS発の学術論文を10本以上出しています。SDGs達成に向けた啓発や広報は、行政やNGOでもできる取り組みですが、学術的な貢献は大学にしかできません。高い研究力を備えた総合大学である

とともに、「平和を希求する精神」を基本理念に持つ大学として、平和で持続可能な社会に研究で貢献することは重要な役割だと考えています。

現在、NERPSでは学内の研究者と世界中の研究者をネットワーク化した国際的な研究クラスターの形成に取り組んでいます。取り上げるテーマは①資源の管理②デジタルテクノロジーの普及③気候変動や紛争によるマイグレーション(移民)④ガバナンスの4つ。各テーマに関連した平和と持続可能性について追究しています。また、それらの研究に共に取り組む海外の共同研究者も募集中です。

今回のTHE大学インパクトランキングでは大きくスコアを伸ばしましたが、ランキングに一喜一憂せず地道な取り組みを続けていくことが重要で

す。2020年の本学のSDGs意識調査では、NERPSの知名度はまだ低い一方で、NERPSの活動に関わりたいと答えてくれた学生が一定数いました。本学の構成員はSDGsへの関心が高く、きっかけさえあればSDGsに関する研究や取り組みがさらに加速するでしょう。NERPSでは、そのきっかけとなるような支援・活動を行っていききたいと思います。



大学が力を入れたい目標4、16が強調されたロゴマーク

被爆75年に考える **平和**

学問の探求

教授が答える、社会の“？”

「放射線疫学」から

被爆資料は人類の遺産。保存・活用へ道探る

原爆放射線医学研究所 放射線影響評価研究部門
吉永 信治 教授
専門分野：放射線疫学、リスク評価

よしなが・しんじ / 広島大学原爆放射線医学研究所附属被ばく資料調査解析部の部長を務める。主に放射線の健康影響を研究している。



のクラウドファンディングに挑戦中です(詳細は右記QRコードから)。



資料を活用した研究と社会発信が間接的に平和につながる

広島で放射線影響の研究をするというのは、特別な意味があると感じています。原爆に関するさまざまな資料を扱っていると、これらを人類の遺産としてどのように残したら良いのかを日々考える機会があります。昨年、大学の公開講座で放射線の健康影響について講演しました。大勢の被爆者の方が来てくださり、直接お話をする中で皆さんの平和への思いや健康への関心の高さを知ることができました。

「平和」という抽象的な概念は、「健康である」ことが前提にあります。そして、健康とはWHOが定義するように「病気でない」だけでなく、身体的、精神的、社会的に満たされた状態です。

私の研究は、直接的には平和に貢献できなくても、放射線の影響を正しく評価し、社会に発信することで、人々の「安心・安全(=健康)」に貢献し、平和の一助となれると考えています。

残念ながら、被爆から75年経った今でも、当研究所が所蔵する全ての資料を最大限活用するまでには至っていません。今は主として研究所内での活用にとどまっていますが、もっと公に使ってもらえるような仕組みを整えて、海外とも連携しながら、さらに研究を進めていきたいと思っています。



アメリカから返還された調査資料

放射線被ばくのリスク解明で人々の安心・安全に貢献

放射線と言うと、広島では原爆のイメージが強いかもしれませんが、実は放射線は身近なもの。医療や工業の分野の現場で活用され、自然界にも存在しているため、放射線による被ばくをゼロにすることはできません。特に低線量の被ばくについては明らかになっていない部分が多く、人々は生活する上で、放射線のリスクに対して不安を抱える場合があります。私の専門である放射線疫学は、これらの放射線被ばくの影響を解明し、安心・安全な社会に貢献する学問です。

研究では、被ばく者の受けた放射線量と実際の疾患のデータを比較し、それらの関連を分析します。広島大学に着任する2018年までは、職業に伴って被ばくを受けた診療放射線技師の集団などを対象として低線量の放射線影響を研究してきました。

米軍返還資料も保管

現在所属する附属被ばく資料調査解析部

では、原爆の放射線被害に関する資料の収集や整理、解析を実施。また、定期的に企画展示を行い、研究成果を社会へ発信しています。所蔵する資料は、亡くなった被爆者のカルテや生体試料、研究に関連する刊行物や被爆前の街並みを再現する復元調査の資料などさまざま。1973年に米軍病理学研究所から返還された貴重な資料も保管されています。

今後、技術の進歩により、さまざまな解析方法が確立され、新たな発見につながる可能性もあるため、これらの資料を良い保存状態で維持することは、非常に重要です。しかし近年、生体試料の経年劣化が課題となっています。当研究所では臓器標本を約8,200点、スライド標本を約24万枚所蔵していますが、そのほとんどが戦後初期から1990年頃にかけて提供されたもの。薬品で処理していても、長い時間を経て徐々に劣化が進んでいます。情報が失われてしまわないよう、他機関との意見交換を行いながら、新たな保存方法について検討を進めています。スライド標本については、デジタル化するため



復元調査に用いられた被爆前の広島市内の写真



調査票に書かれた手書きのメモは、当時の様子を知る重要な手掛かりだ

身近な疑問を、異なる専門分野の研究者が解説！
今回は被爆75年にちなみ、平和とは何か、そのために私たちができることは何かを考えます。

「平和学」から

グローバルな平和を「ヒロシマ」から発信

平和センター
川野 徳幸 教授
専門分野：原爆・被ばく研究、平和学

かわの・のりゆき / 広島大学平和センター長を務める。主に、原爆被爆者、核実験被害者、原発事故被害者の心理的・社会的影響などについて研究している。



国際シンポジウムでの講演

は、広島は原爆に関する研究はもちろん、よりグローバルな平和教育・研究についても推進していく考えです。



チェルノブイリ原発事故被災者への聞き取り調査

被爆者の体験を大学で学ぶ

今年、広島は被爆75年を迎えます。当時の体験を語れる人が少なくなっている今、被爆者の思いや平和の大切さをどのように語り継ぎ、残していくかが課題となっています。しかし、単に語り継ぐだけでは、いずれ風化してしまう。そうならないために、大学は次世代を担う若者たちが被爆体験への理解を深められるような学びの場を提供しなくてはならないと考えています。

私が所属する広島大学平和センターは、平和学の学術的研究機関としては我が国最初のものであり、国立大学では今なお唯一の研究機関です。前身となる平和科学センターは、平和科学に関する研究・調査と資料の取



読売新聞と共同で行っているアンケート調査

集を目的に1975年に発足。その後、2018年に現在の形へと発展しました。従来の活動に加えて、研究成果の教育への還元や、平和教育の推進にも取り組んでいます。

原爆から紛争問題まで29の平和科目

広島大学は、学部・大学院の科目として2011年度から「平和科目」を開講しました。当センターはその企画・運営において中心的な役割を担っており、医学・社会学・物理学などさまざまな切り口で原爆に関する学習機会を提供しています。私は、被爆者や核実験被害者の心理的・社会的影響の調査研究に基づいた「平和学」の講義を担当。学生たちが原爆による被害の大きさを理解するだけでなく、「平和」「ヒロシマ」についても考えられるような講義を心掛けています。

また、平和科目では、紛争問題などの普遍的な「平和」に関する講義も展開しています。平和という多くの広島の人々は「核なき世界」をイメージするかもしれませんが、世界的には、紛争問題やそれに関わる貧困・難民問題など、もっと広い範囲を指します。当センターで

平和とは「弱者」に寄り添える社会

世界の人々にとって被爆を経験した「ヒロシマ」は特別な地です。被爆者の話には、いまだに多くの人が耳を傾けてくれます。しかし、これらも長い年月が経ち、当時の体験を語れる被爆者が一人もいなくなってしまうと、ヒロシマが歴史的に忘れられてしまう可能性もあります。

私は「平和の聖地」として世界が認めてくれている今のうちに、グローバルな平和についてもヒロシマから積極的に発信していくべきだと考えています。それが原爆体験を直接聞いた私たちの役目であり、私たちにしかできないことからです。

「平和」とは、とても多義的で、あいまいな言葉ですが、私は社会的に弱い立場にある人たちに寄り添える社会構築だと捉えています。今般のコロナ禍でも社会的弱者の存在があらためて顕在化しました。SDGsが掲げるように、貧困や飢餓、暴力、差別などに苦しむ最も弱い人々を「誰一人取り残さない」社会が理想です。その実現は決してたやすくはありませんが、こういった人々の存在に気づき、思いやり、寄り添うことが平和な社会の実現に近づく一歩だと思っています。

AERAが書く、研究者の素顔

研究者は普段どのような一日を送り、研究に取り組んでいるのか。学問との出会いや、探究の原動力は何だったのか。人物、スポーツ、文化、政治、経済、事件…幅広いジャンルを取材するAERA記者が研究者の素顔に迫ります。

[AERA]
「時代」をキーワードに独自の切り口で描くニュース週刊誌。国内外の重大ニュースから身の回りの小さな出来事まで「時代」を敏感にキャッチし、独自の視点で掘り下げた記事をお届けしています。

現代の大学教育・科学技術政策を 問い直す



小林特任教授に訊く!!!

- Q1 研究者を志したきっかけは?
- Q2 研究テーマは?
- Q3 広島大学のいいところは?

人間社会科学研究科 / 高等教育研究開発センター

小林信一

特任教授



修士1年の研究が 国の政策に直結

「私は、通常の研究者のイメージとはかなり違って大丈夫ですかね」
インタビュー冒頭、小林信一特任教授は颯爽とこう話す。たしかに研究者・教育者というより、企業の最前線にいるビジネスマンといった印象を受けた。平均で4年ごとに職場が変わり、大学だけでなく行政、独立行政法人などで勤務してきたという経歴も、研究者としては異色だ。
「研究者らしくない」道を志したきっかけは、大学院の修士1年のときにさかのぼる。
数学や統計、コンピューターが得意だった小

PROFILE

こばやし・しんいち / 1956年長野県生まれ。広島大学副学長、大学院人間社会科学研究科長、高等教育研究開発センター長。79年、筑波大学第二学群比較文化学類卒業。86年、同大学社会学部社会学研究科(博士課程)単位取得退学。東京工業大学助手、科学技術庁科学技術政策研究所総括主任研究官、筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授、国立国会図書館専門調査員などを経て現職。



大学での「研究倫理」の授業の様子

林特任教授は、修士課程では社会工学の道を選択した。当時知り合いの教授が農林水産省から食料の安全保障に関するシミュレーションを頼まれた際に、実作業を任された。その時に作ったシミュレーションは、答申の核に採用され、その一部はNHKの報道番組でも使われた。
「修士1年で、自分の関わった研究が社会の中で、特に政策に直接結びつくという経験をしたのです。この経験は大きかったですね」

異分野の世界を知った方がいい

以来、「公共政策に役立つ研究」を目指すようになった。さらに大学の研究が社会にどう役に立つのか、そのために大学はどのように研究者を育てていけばいいのかをテーマに考え続けてきた。1990年以降、大学での研究が科学技術政策にとって重要性を増していく時代背景とも合っていた。
今年、科学技術分野の文部科学大臣表彰である「科学技術賞」を受賞した。業績は「科学技術政策と高等教育政策の融合研究実践技術の振興」。受賞理由について、小林特任教授はこう話す。
「科学技術政策と高等教育政策の両方をやっている人はほとんどいないので珍しかったのもあるでしょう。序列の中で下から積み上げていく通常の研究とは異なって、トップの人たちとのネッ

トワークが築けたことが良かったと思います」
小林特任教授が取り組むテーマの一つに「研究不正」がある。「不正」というと悪意のあるものをイメージするが、そればかりではない。研究の世界では、実験方法や装置などの条件を変えると結果が全く異なることもある。「この方がいい数字が出るかな」という何気ない意識がもとで不正が生まれることもある。分野によって、研究データのとり方や扱いも異なる。だから、外の世界の違う価値観に触れることで「あ、これは不正なのかも」と気付くことが多い。
大学で、研究不正が問題となっていた2008年、小林特任教授は「研究倫理」の授業を始めた。一方的に教えるのではなく、分野や属性の異なる学生同士で議論やワークショップをしてもらった。
「多様性の中での交流が大事なのです。他の価値観に触れることで、自分たちの研究分野での常識が特殊と分かる。だから若い人には、海外に行ったり、少し道を外れたりして、異分野の世界を知った方がいいと言いたいですね」

コロナ禍で感じた 地域社会の支え

趣味をたずねると「うーん……」と言ってしばしの沈黙。「趣味とか好きなことを聞かれると困っちゃうなあ」と苦笑する。
「ただ、仕事がない期間に、妻の運転で日本中をドライブして回ったのは楽しかった。東京から福岡までぐるっと。無職っていいなあと思いましたよ」と、はにかみながら答えてくれた。

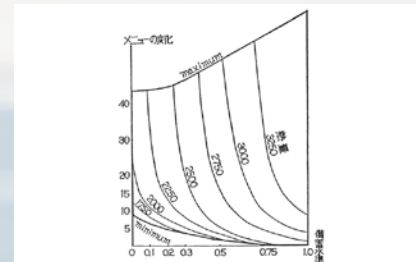
さまざまな職場を経験してきた小林特任教授。広島大学のいいところを尋ねると、こう答えた。
「今回のコロナ禍で、地元企業さんが苦境にいる学生たちにアルバイト先を提供して下さるなど、多方面で学生や大学を支えてくれました。首都圏の大学にいた時には、地域の存在をここまで感じることはなかった。大学にとって地域社会の支えは大事なのだと痛感しました」

それともう一つ小林特任教授は付け加えた。
「私は3年前に病気で車いす生活になったのですが、広島大学が障がい者となった私を雇ってくれ、副学長にも就任することになった。こうした大学の姿勢がうれしかったというか、素晴らしいですね」
広島大学の姿勢、自身の体験からも、「多様性」の大切さを教えてくれた。

取材・文 /
アエラムック編集部 大田原 恵美

What do you like?

「夫婦旅行では、妻が風景写真を撮ることが多い」と小林特任教授。写真は金沢21世紀美術館のオブジェ『まる』。一つ一つの丸に2人が写った様子が面白くて撮った一枚。



1981年の農林水産省の答申に反映されることになったグラフ。日本で食料安全保障について議論される契機となった

team
09



学術文章作成のコツを伝授し
研究成果の発信に貢献



広島大学ライティングセンター 河本 健 (かわもと たけし) 特任教授

大学院生のチューター、専任教員らが個別相談
論文からレポートまで日英両語に対応

大学入学後、学生がぶつかる壁がレポートの作成だ。中等教育で馴染みのないレポートの課題を言い渡されて「どうやって書けばいいのか」と悩んだ人も多いのではないだろうか。とりわけ英語ならなおさらだろう。広島大学のライティングセンターは、そんな学生の悩みを解消する機関。レポートをはじめとするさまざまな学術文章作成の個別相談を受け付けている。主な業務は大きく2つ。1つはチューターが担当する、レポート課題や卒業論文の「ライティング相談」。もう1つは専任教員とアドバイザー・フェローが担当する、投稿論文や学会抄録、学会発表原稿などの「英語論文作成相談」。それぞれ年間400件以上の相談が寄せられる。また、学術文章作成に関するセミナーやワークショップも定期的で開催している。

センターの強みは、構成員の多様性だ。チューターは、学術文章作成の関連授業で募集した大学院生で、留学生も在籍。日英の2カ国語に対応しており、さまざまな分野の論文相談を受けている。「学生たちは情熱を持って取

り組んでいます。知識や経験が豊富な教育系の学生が多いのが、広島大学の強みです」と話すのは副センター長の河本健特任教授。学生たちは週1回ミーティングで、指導法についての議論やスキルアップのための研修を自主的にしているという。

個別相談にあたって、メンバーが心掛けているのは「添削」をしないこと。一方的に正解を教えるのではなく、ヒントを出しながら分かりやすい文章にする方法を相談者と一緒に考える。「よく課題となるのが、文章の流れや論理性。情報を箇条書きのように羅列してはだめです」と河本特任教授は指摘する。

「当センターの使命は、学術的文章を書くスキルを身に付けるお手伝いをすること。そして広島大学発の論文数を増やすことです。いろいろな事情で投稿論文まで至らない研究は多いですが、論文として形に残さないと研究者としても大学としても評価されません。せっかくの研究成果が埋もれてしまわないよう、サポートをしていきたいと思います」

キーワード: 学術論文、レポート執筆
人数: 大学院生11人、専任教員2人
連携部署: 図書館部、学術・社会連携部
設置: 2013年4月

DATA



広島大学病院 看護部 佐藤 陽子 (さとう ようこ) 看護部長

人材育成とノウハウの発信で、地域医療の底上げに貢献
職員の働きやすい組織づくりがより良いケアへとつながっていく

広島大学病院の看護部は、総勢約950人から成る。「急性期医療に終始するだけでなく、患者さんの退院後の生活を見据え、患者さんに寄り添った看護の実践を大切にしています」と佐藤陽子看護部長(写真右から3番目)。

そこで重要となるのは、部署内・部署間の連携である。看護単位(病棟ごとに分かれた看護部内の部署)をまたぐ円滑な組織運営のため、毎週各看護単位を回ってスタッフに声を掛ける。「部署から上がってくる報告を待つのではなく、自分の目で現場を見ておきたいと思い、副看護部長の頃から始めた習慣です。自分たちが立てた方針が誤解なく伝わっているか、現場で何か問題が発生していないかを確認でき、迅速な課題解決につながっています」

そのチームワークは、コロナ禍でも発揮された。第一種感染症指定医療機関の広島大学病院は、感染症重症患者を受け入れ、院内での療養環境の見直しやソーシャルディスタンスの確保を行った。「患者さんたちに混乱が生じないように、部署間での情報共有の徹底と対応の統一化を図りました。また、職員たちがストレスを抱え込まないように、対応に当たった病棟には足しげく通い、現場の声を聞くようにしました」

広島大学病院が長年力を入れているのが、人材育成だ。新人看護職員研修の体制を10年程前に整備し、院内独自の指導者資格認定制度を確立。指導者育成も欠かさず行うことで、指導を受けた若手が指導者として育つ好循環を築いている。「当院は、勉強に意欲的で

DATA

キーワード: 地域包括ケア
人数: 看護師886人、助産師27人、看護補助者32人、医療補助員18人、事務職員1人
その他連携機関: 広島県看護協会

team
10



患者さんに寄り添った
ケアを
実践

教育熱心なスタッフが多く、研修にも積極的に参加してくれます。教育体制の充実を理由に広島大学病院への就職を志望する学生も多く、新卒採用者の定着率は全国トップクラスだ。また、院内の「看護実践教育研修センター」を中心に地域の看護師向けの研修や講演会を開催し、ノウハウを発信することで地域医療に貢献している。

「今後は、地域包括ケアの推進と働き続けられる職場環境づくりにも取り組みたい」と意気込む佐藤部長。大学病院にも、時代の変化に応じた柔軟な体制が求められている。「私の任務は、職員が生き生きと働ける組織と制度を整えること。それが結果的に、質の高いケアの提供へとつながっていきます」



看護部認定の資格を示す
オリジナルバッジ

【ぶち】

とても(広島弁)

おもしろい 広大講義

学生がおすすめする広島大学の「ぶち」おもしろい講義を各回ご紹介いたします。

vol.05

輸送システム工学 実験・解析法

開講部局：工学部
科目区分：専門教育



担当教員：田中 義和 准教授
(先進理工系科学研究科)

専門分野：工学／総合工学／
船舶海洋工学

Student's Voice!

リモートセンシングには初めて触れたのですが、すでに学んだ知識・技術が基礎にあることを知りました。実験を通して、学びのつながりが見えてきたと感じます。

工学部 3年 田島 冴衣 さん



実験も完全リモート対応のオンライン授業！ 動画コンテンツで実験手法を学び、考察力を磨く

人々の活動を大きく制限し、行動様式の変化をもたらした新型コロナウイルス感染症。大学の授業も変化を迫られ、2020年度前期の授業はオンライン・オンデマンドでスタートしました。「輸送システム工学実験・解析法」のような工学部の実験も、その例外ではありません。

この授業では材料強度試験、梁の振動試験、物体に作用する揚力・抗力実験、浮体の運動、直流モータの制御実験、リモートセンシングによる環境計測実験、工作実習といった7つの実験課題に取り組めます。例として「梁の振動試験」では、片持ち梁(一端のみで固定された梁)を振動させ、その振る舞いを計測。特定の振動数で物体が大きく揺れる「共振」と呼ばれる現象について学びます。実験では振動数を変えながら片持ち梁を揺らし、共振が起こったときの揺れ方を計測。同時に、理論的にはどのような揺れ方になるかも計算し、実験結果と比較します。「実験値と理論値が違った場合に、なぜ差が出たかを考える。それが実験のポイントです」と語るのは、この実験課題を担当する田中義和准教授。学生にしっかり考えてもらうため、あえて誤差が出るように実験条件を設定しているといいます。

通常は学生が実際に装置を用いて計測しますが、オンラインではそれができません。そのため、教員が計測する様子を収めた動画をオンデマンドで配信し、それを見て学生が分析する形で授業が行われました。動画は丁寧な解説付きで、装置の扱い方やデータの取得・解析方法への理解を深められます。制作に力を入れたかがあり「レポートを見ていても、通常授業と比べて理解度に大きな差はないと思います」と田中准教授は手応えを語ります。「ものに触れられないので直感的な理解が難しいのでは」といった心配もあるそうですが、学生からは「分からない部分を繰り返し見られる」「通常の実験では自分の担当箇所しか見えなかったが、動画では全体が見える」と前向きな声が寄せられています。教員にとっても、学生にとっても未経験の状況が続く昨今。それでも、広島大学の学びは止まることなく進み続けています。



梁の振動試験の様子。



工作実習では工作機器の操作に挑戦。



コードを打ち込むと、マシンで加工が行われる。

廣瀬 詠太郎 さん

総合科学部 3年
留学期間：アメリカ16日間、カンボジア8日間、ドイツ6ヵ月間

自分を知り、未来への道が開けた留学経験。

ドイツ留学当初、自分が何を学びたいのか分からず将来への不安がありました。滞在先でフロアメイトとなったルーマニア出身のロランドとの出会いが私を大きく変えました。彼は、9年間国連で働いていた社会人学生で、国際政治の修士号取得のために留学していました。社会に貢献しようとひたむきに学習する彼の姿に刺激を受け、自分も以前から関心のあった法曹を目指そうと決意。かつてないほど集中して法学と語学を学びました。留学の魅力は、自らの本質と向き合えること。語学力や論理的思考力を世界基準で比較でき、自分の小ささと、得意なことを同時に知ることができます。留学先で自分を見つめる体験が、将来進むべき道を示してくれました。



留学先のテュービンゲンの街並み。美しい市街地が広がる大学都市です。



親友ロランドと。留学先で出会った友人とは頻りに飲みに行き、語学の練習にも役立てました。

広大から世界へ。世界から広大へ。



TO THE WORLD

世界へのまなざし



入学した教育プログラム

たおやかで平和な
共生社会創生プログラム

「平和を希求する精神」を掲げる広島大学がその理念に基づき、文化・技術・社会が連鎖的に発展するたおやかな平和社会の実現のための教育プログラム。

日本の好きどころ

好きどころはたくさんありますが、人が親切であること、安全な社会、優れた交通インフラ、日本の文化、平和な学習環境が特に好きです。

MYANMAR → HU

活用した留学プログラム

HUSAプログラム(ドイツ)

<これまで活用したプログラム>

- ・STARTプログラム(アメリカ)
- ・PEACE学生交流プログラム(カンボジア)

特定プログラムGPLP(Global Peace Leadership Program)の留学支援英語や、トラILINGガル養成特定プログラム(ドイツ語)を履修していたことが、現地で円滑なコミュニケーションを図るのに大変役立ちました。



SEBAL OO さん

ザベウー
大学院工学研究科 博士課程後期1年
出身国：ミャンマー 留学期間：5年

プログラムの理念と自分の思いが一致。 学んだ専門技術で途上国に貢献したい。

土木技師として、インフラストラクチャと都市計画の独自性を学びたいと思い、日本への留学を決めました。広島大学のたおやかプログラムは、恵まれない地域の課題解決や新しい技術開発を担うリーダー育成を掲げています。新たなことに挑戦したい、途上国に貢献したいと考えている私にとって、まさにここが「学ぶべき場所だ」と感じました。留学当初は内気で引っ込み思案でしたが、親切な周囲の人々に支えられ、学習を重ねるうちに、物事に積極的に関わられるようになりました。将来は身に付けた専門性を活用して熟練したエンジニアになり、コミュニティーのリーダーとして、開発途上国の発展に積極的に寄与していきたいと思っています。



2017年のオープンキャンパスにて。



日本の四季を感じることのできるキャンパスの環境がとても気に入っています。

学生レポ! 私 も 広 大 で す

ドローンを使った画像解析を駆使し 現場の課題を解決したい

ドローンを使った高密度測量や精度の高い画像解析を行うルーチェサーチ株式会社を2011年に設立。土木の工事現場や災害時の現場調査などに役立てています。ドローンというと、空を飛ぶラジコンといったイメージしかないかもしれませんが、しかし社会に貢献できる使い道が大いに期待されています。

世の中にドローンが登場したのは15年程前。撮影が主な用途でしたが、約10年前に自然環境に対して技術応用を始めました。新しい市場のため、機体の販売以外で事業化している企業はまだ少ない。その中でルーチェサーチは、世界でも珍しく機体の開発設計・製造から、現場での測量、画像解析まで自社で一貫して行っています。橋梁点検や河川調査、農薬散布など、土木・建築・農業・林業の多様な領域で、開発した機体や技術が活用されています。

近年の大規模災害時にも何度も出動しています。2014年の広島豪雨災害では、国土交通省の要請を受けて現場を測量。2016年の熊本地震では、レーザー測量を用いて地割れを解析し、捜索活動の判断材料を1時間で提供しました。ドローンでの測量は、人が足を踏み入れることができない危険な場所でも計測することができ、かつ調査時間を短縮できるため、災害時の迅速な対応につながります。滞空時間や機体の大きさなど、現場には考慮すべきことがたくさんあります。広島大学との共同実験や、海外のベンチャー企業との共同開発も行いながら、現場の知識を組み込み、本当に必要とされるものを生み出していきたいです。

当社のコンセプトは「現場の課題解決」。現地の情報があれば、これまで足を運んで実施していた仕事が事務所で可能になります。AIやロボットが目目される昨今、業務のロボット化・効率化は重要な観点だと思います。

目の前のことにきちんと向き合うことが 将来の学びにつながる

大学時代は総合科学部で学びました。当時は地理学を専攻しながら、自分のやりたいことを探していました。起業のきっかけは、「社会課題の解決がしたい」という思い。ドローンを仕事にしようと思ったのではなく、課題解決の手段の一つがドローンだったということです。

現在でも、営業やマーケティング、技術面など日々学び続けています。今自分に起きていることは、必ず学びや成長につながります。大学時代から、目の前のことにきちんと取り組み、さまざまな経験をしていくことが成功の力ぎだと思います。

広島大学を卒業・修了後、各業界で活躍されているOB・OGの方々に学生がインタビュー。現在のお仕事と大学時代を語っていただきました。

総合科学部 出身

渡辺 豊 さん

ルーチェサーチ株式会社 代表取締役

わたなべ 豊 / 広島大学総合科学部 2004年度卒業。2011年にルーチェサーチ株式会社を設立。広島と東京に拠点を置き移動体計測、特にドローン(UAV)による地形測量、構造物点検及び三次元解析を行う。2014年8月の広島豪雨災害での貢献が評価され、同年9月に首相官邸でドローンのデモンストレーションフライトを行うなど、業界の先駆者として活躍する。2016年、高精度の地形解析が可能なドローンレーザー測量を世界で初めて実用化し、第7回ロボット大賞(国土交通大臣賞)を受賞。国土交通省の推奨技術認定も受ける。



Report

学生広報ディレクター

人間の手が届かない部分を補ってくれるドローンは、「孫の手」のような存在だと感じました。常に「現場に役に立つものを提供したい」という一心で開発に取り組まれている渡辺さんだからこそ、西日本豪雨のような非常時でも活躍できる「孫の手」を次々と生み出すことができるのだと思いました。

教育学部4年 貴船 桃佳さん



しんきゅう・ちえ / 広島大学教育学部2002年度卒業。2006年に読切作品『痛快! 堀田クリニック』でデビュー。著書に『タカネの花』『ワカコ酒』など。現在、『ワカコ酒』(月刊コミックゼノン/WEBコミック ゼによん)、『タカコさん』(WEBコミック ゼによん)、『ねこびたし』(WEBサイト ねこねこ横丁)、『居酒屋人めぐり』(中国新聞)、『お酒ハンザイ!』(レタスクラブ)を連載中。女性の一人飲みを題材にした作品『ワカコ酒』は実写ドラマ化され、大きな反響を呼んだ(現在、Season5まで放送されている)。



教育学部 出身

新久 千映 さん

漫画家

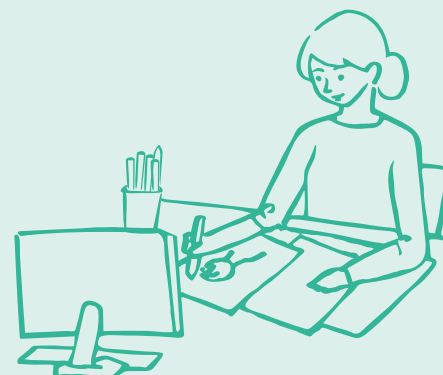
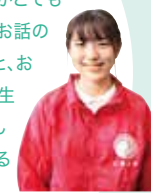
顔写真は非公表のため、自画像での掲載

Report

学生広報ディレクター

楽しそうに漫画のことを語られる姿がとても印象的でした。また、ほのぼのとしたお話の中からも「漫画が好き」という気持ちと、お仕事に対する熱意を感じました。学生時代に漫画を投稿し始めた新久さんのように、私も夢に向かってまずできることから挑戦してみようと思いました。

総合科学部3年 廣田 香さん



夢があるならやるしかない 改めて目標と向き合い、挑戦を決意

子どもの頃から漫画家になりたいと思っていました。しかし一方では、プロになるのは難しそうだと感じており、広島大学の教育学部への進学を選択。社会科の教員を目指していましたが、教育実習が進むうちに熱意ある周囲のみんなとは違い、自分は日本史が好きだけで教壇に立ちたいわけではないと気付きました。その時に思い出したのが、幼い頃に抱いていた夢。本当は、漫画家になりたかった。それなら、行動するしかない、と、在学中から出版社への投稿を始めました。周囲から「正気なの?」と言われ、就職活動をしている同級生の中で、漫画を描き続けていました。

卒業後は、在学中に取得した医療事務の資格を生かして病院の受付事務をしながら投稿を続けました。2005年に上京し、活躍中の漫画家さんのアシスタントをする傍ら自分の作品を出版社へ持ち込み続ける日々。ついにデビューを果たすことができたのは、2006年のこと。医療事務の経験を生かした作品でした。担当の編集者の方に、何度もダメ出しをされて一晩泣き明かし、それでも折れずに「また描くか!」と奮発する。そういったことの繰り返しの末に夢を実現することができました。

『ワカコ酒』誕生のきっかけは、担当の編集者の方の一言でした。「新久さんてほんとお酒好きですよ」という何気ない会話から、構想が浮かんで来て。連載を開始した頃は、女性が一人で飲むというのが、ネガティブなイメージだったのですが、主人公の親しみやすいキャラクターが読者の心をつかんだようで大きな反響がありました。一人で無口に飲んでも、本人はすごく楽しんでいるというのが共感できたのでしょね。さらに、作品を実写ドラマ化していただいたことは大変光栄で、試写会では感極まって号泣してしまいました。

自分の作品が、何かを始める“きっかけ” になることがうれしい

漫画の着想を得るために工夫していることは、メモ魔になること。日常で起こった出来事や会った人の様子などちょっとしたことを書き留め、作品の中に取り入れています。人に会うのはあまり得意ではありませんが、人へ会って感性をアップデートすることも大切にしています。

また、読者の皆さんからいただく、「『ワカコ酒』を読んで一人飲みを始めた」「大人になったらお酒を飲んでみたい」といった声が大きな励みになっています。自分の作品が何かを始めるきっかけになったと思うと、うれしいですね。今後も読者の皆さんに共感いただいているところは維持しながら、飽きさせないように小さな変化を重ねて、未永く愛される漫画を描き続けたいです。

先輩の皆さんでやりたいことが見つからない人もいますが、まずはできることから始めることが大切です。それらがいつか、やりがいにつながり、将来が見えてくることがあると思います。

多彩な広大グッズはいかが？

広島大学のグッズは種類豊富！お土産や記念品としてぜひご購入ください。

※ 価格は全て税込み

グッズが
できたよ！

広島大学
マスコットキャラクター
「ひろティー」
(商標登録出願中)

「ひろティー」
グッズ

カープ
コラボグッズ

「その他
いろいろ！」

オフィシャル
グッズ
～日用品シリーズ～

マグカップ 850円

フェイスタオル 1,500円
ミニタオル 500円

今治ライトタオル 1,000円

クリアファイル 200円

2色展開！
キッズ用も。

Tシャツ 2,000円

ボールペン 400円

トートバッグ 1,500円

よく見ると
ドットが「H」に！

トートバッグ 440円

マグカップ 770円

酒都西条の
日本酒！

ボールペン 132円

日本酒「広大(ひろだい)」
(左)純米大吟醸(720ml) 2,420円
(右)純米酒(1,800ml) 2,420円

オフィシャルグッズ
広大オリジナルクッキー 1,296円

マスキングテープ 379円

Tシャツ 1,870円

ご購入方法については、こちらをご確認ください

カープグッズ、ひろティーグッズの
詳細、購入場所

日本酒「広大(ひろだい)」
賀茂泉オンラインショップ

オフィシャルグッズ等
販売サイト(広大生協)

QRコード

オフィシャルグッズと日本酒は生協店舗でも購入可能です。

9

三輪 響さん
総合科学部 総合科学科 4年

小さな気付きから未知の錯視効果を発見

サークルのチラシをデザインした際、文字を複数の色で縁取ると、にじんで見える現象を発見。詳しく調べると、この錯視効果は既存のものとは異なり、原理も未知だと分かりました。「面白い！他の人にも伝えたい！」と思い、日本認知心理学会が開催する第11回錯視・錯聴コンテストに作品を応募。国内外の著名な研究者も参加する中で入賞できました。ふとした違和感を見過ごさなかったことが大きな結果につながる、という学びになりました。現在は卒業研究として、発見した錯視効果の原理の解明に取り組んでいます。目に映るものを、脳はどのように処理し、認識するのか。錯視の研究を通して、そのメカニズムを明らかにしていきたいです。



おすすめスポット
ぶどう池の
ほとり

発見した錯視効果を用いた作品 ▶ ジュワッ

愛用アイテム：色覚検査キット

研究のため色覚について学んでいます。実験で初めて使用した専門機器なので、思い入れがあります。



ワッ

がんばる学生の姿をお届け

HIRO-DAI HEROES

10

北野 壱歩さん
工学部 第一類 4年

チームの思いを込めてハンドルを握る

大学ならではの経験がしたいと思い、興味を持ったのが自動車部でした。時間や運転の正確性を競う3種類の競技での全国優勝を目標に掲げて、練習と整備に日々励んでいます。モータースポーツはドライバー個人が目撃されがちですが、実はドライバーを支える多くのメンバーが不可欠なチームスポーツ。何カ月も練習し、部員全員の思いを背負って勝利を目指し、コンマ数秒を削るために必死に走る——。そんなアツい経験ができることが自動車部の一番の魅力です。昨年は全日本学生ダートトライアル選手権大会団体の部で優勝。支えてくれた部員には感謝しかありません。部活動を通して、チームで一球となって達成する喜びを何度も味わうことができました。



おすすめスポット
自動車部の
ピットへ向かう道

愛用アイテム：ドライビングシューズ

2年生の春に購入し、練習から全国大会まで共に戦ってきました。ポロポロになって、非常に愛着のある大事な一足です。



自分の部屋を最高の空間に!

自宅過ごす時間が多いので、その時間を少しでも快適にしようと、部屋の掃除や模様替えをしています。部屋がきれいになるだけでなく、ストレス解消にもなって一石二鳥! 自分好みの空間に仕上げています。部屋がきれいだと、心が穏やかになり、前向きになれます。

総合科学部 3年 廣田 香さん

意外と楽しい! 気軽に運動不足解消

運動不足を感じて、興味本位で始めたのがオンラインエクササイズ。簡単なストレッチからきつめの有酸素運動まで、WEB上にさまざまな紹介動画が公開されているので、毎日飽きずに楽しく続けられました。短時間で済むので、授業の合間に取り組み、頭の切り替えにも役立ちます。

大学院人間社会科学部 博士課程前期 1年 小田 夏海さん

オンライン飲みで乾杯~♪

ずっと家にいて友人と会う機会が減った分、いろんな人とビデオ通話しながらお酒を楽しんでいます。オンライン飲み会の良さは、三密を避けられる、自分のペースで参加できる、遠くにも顔を見てゆっくり話ができる、などたくさん。自粛期間が終わっても定期的に開催したいです!

文学部 4年 池田 詩貴さん

気になっていたDTMに挑戦!

自粛期間中、音楽に触れる機会が少なくなってしまったので、家でもできるDTMを始めてみることに。DTMとはPC上で音源を作ること。社会に出てからも音楽を続けていく方法の一つとして以前から興味を持っていました。外出できない時間を生かして、自分の興味を実行に移せました。

薬学部 6年 深津 秀太さん

自分らしい演奏を研究

ジャズ研究会に所属しています。ジャズは、同じ曲でも演奏者の個性によって全く違う曲に聴こえる音楽。活動自粛期間はいくつかの曲を聴いて、魅力的な演奏をするための研究がはかどりました。この研究成果は活動再開後の演奏に生かしたいと思います。

生物生産学部 3年 亀山 敦司さん

家の中でも運動! 自転車のトレーニング

筋力が衰えないように、部屋の中でもできる筋トレやバイクコントロールの練習をしました。興味本位で始めたのに、気付けば熱中して1時間経過しているということも(笑)。どんなに軽い運動でも、体を動かすことは体にも心にも良いと感じました!

工学部 4年 角 儀匠さん

イラストを描いてお小遣い稼ぎ

私は、小さい頃から絵を描くことが大好きです。自粛中はアルバイトが休みになったので、小説の挿絵や表紙など、絵の有償依頼を引き受けてお小遣いを稼いでいました。基本的には液晶タブレットを使いますが、友人にプレゼントする際は、色鉛筆やコピックでスケッチブックに描くことも。

教育学部 4年 堀 里実さん

将来の夢を叶えるため 資格の勉強に奮闘!

僕の将来の夢は、パイロットになること。そして操縦士や航空管制官になるためには、航空無線通信士の資格取得が必要です。コロナ禍では、普段より時間に余裕があったので、資格の勉強に挑戦! 電気物理の基礎から、専門的な内容まで航空無線の知識を身に付けました。

総合科学部 2年 周藤 翔さん

パン屋さんになる 長年の夢が叶った!

子どもの頃からパンが好きで、パン屋さんは憧れの職業でした。家で退屈していた私は、「これを機に新しいことに挑戦したい!」と、パン作りを開始。就職活動の良い息抜きとなりました。パン作りはスイーツ作りほど繊細ではないので、私のような大雑把な性格の人におすすめです!

総合科学部 4年 助永 百花さん

ピアノと料理が上達!

自粛期間は大好きなピアノのほか、料理を満喫。故郷・エジプトの母に作り方を聞きながら、たくさんのメニューを作り、料理の腕が上がりました。お気に入り「コフタ」という肉団子料理。調理が簡単で、いつでもどこでも食べられるのでピクニックにおすすめです。

大学院人間社会科学部 博士課程後期 1年
サルマ モハメド
アブドイルガワードさん

退屈な時間も読書で楽しく

自宅で読書にふける日々を送っています。自分が外に出かけられなくても、小説を読めば登場人物が代わりに世界各地を旅してくれます。毎日のタスクが終わってから、コーヒーを片手に好きな本を読むひとは、贅沢で幸せな時間です。

大学院人間社会科学部 博士課程後期 1年
毛 月さん

家族と見守るメダカの成長

春休みから実家で、母が何年も育てているメダカと一緒に観察していました。こんなにじっくりと観察したのは初めて。5月にはメダカの産卵を見守り、毎年メダカをかわいがって育てる母の気持ちが分かりました! いつもよりたくさん時間を家族と過ごせて、幸せです。

総合科学部 4年 山本 昌奈実さん

HU-style vol.13
STAY HOME
うちで何してた?

新型コロナウイルスの影響で、家
おうち時間をどのように楽し

もりを余儀なくされた広大生たち。
んだのか、聞いてみました。



芥川賞受賞の小山田氏・ノーベル化学賞受賞の吉野氏が語る 大学院人間社会科学研究所・大学院先進理工系科学研究科設置記念式典・講演会

4月1日に設置した大学院人間社会科学研究所・大学院先進理工系科学研究科の記念式典および講演会を、7月2日に開催しました。新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で規模を縮小して実施。記念講演会第一部では、本学の卒業生であり2014年に芥川賞を受賞した小説家の小山田浩子氏によるトーク「言葉を届け、受け入れる」が行われ、続いて第二部では、2019年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏が東京からリモート登壇し、「リチウムイオン電池が拓く未来社会」と題して講演しました。会場には、高校生・本学学生ら約250人が集まり、熱心に耳を傾けました。



トークを行う小山田浩子氏



越智学長(左)から吉野彰氏(右)へ、リモートで特別栄誉教授の称号授与

カミガキヒロフミ氏による 広島大学キャンパスのイラストが完成しました

広島大学はイラストレーターのカミガキヒロフミ氏に、広島大学のキャンパスを描いてもらうことを依頼。この度、ついに完成しました。カミガキ氏は、広島大学のシンボルであるフェニックスを「フェニックスマーク」、マスコット「ひろティー」としてデザイン。現在、グッズなどさまざまなシーンで活用されています。今回のイラストは、東広島キャンパスを中心にカミガキ氏の得意とする細密かつ色鮮やかでポップなタッチで描かれており、霞・東千田キャンパスの建物も描写。遠景には、広島を象徴する原爆ドームと厳島神社も描かれています。



「広島大学 知のワンダーランド」(英語名Exploring Wonderland)

画期的な牛の雌雄産み分け法を 応用した研究に約3億円の助成が決定

大学院統合生命科学研究所の島田昌之教授らのグループが開発した、簡便な雌雄産み分け法を応用した牛の人工授精法の研究に、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から3年間で約3億円の助成が決定しました。感染症と貧困の撲滅を目指す同財団から、インドにおける貧困層の食料問題を解決するため、島田教授らの開発した研究成果を活用して、雌牛の繁殖頭数を増やし、動物性たんぱく質としての牛乳生産量の増大を目指す目的で、本技術を活用したいとのオファーがありました。本学の研究成果がSDGsに貢献する国際的な研究としてさらに発展していくことを期待しています。



—企業の人事担当者から見た大学イメージ調査— 広島大学が「行動力」全国2位 総合ランキングは中国・四国・九州でトップ

日本経済新聞社と就職・転職支援の日経HRが実施した人事が見る大学イメージ調査(2020年6月3日発表)で、広島大学の総合ランキングは全国6位(昨年は5位)で、中国・四国・九州エリアではトップにランクされました。学生のイメージランキングでは「行動力」全国2位、「対人力」5位、「独創性」10位、「知力・学力」11位。大学の取り組みランキングでは「地域の産業・文化に貢献している」が全国1位となりました。



人工知能技術で航空写真から災害による建物被害を自動的に把握する技術を開発

大学院先進理工系科学研究科の三浦弘之准教授は、人工知能(AI)技術の一つである深層学習を利用して、災害後に撮影された航空写真から建物の被害程度を判別する手法を開発しました。本手法により、倒壊した建物、無被害の建物、屋根にブルーシートがかけられた建物を自動的に短時間で判別することができます。三浦准教授は、「将来、広域・大規模な自然災害が発生した際には、短時間で個々の建物被害状況を把握することが可能となり、迅速かつ適切な災害対応に役立つ」と意欲を燃やしています。



記者説明を行う三浦弘之准教授

オオサンショウウオの保護活動に取り組む清水准教授らが 個人出版大賞を受賞

広島大学総合博物館の清水則雄准教授と元大学院生の山崎大海さんが出版した『オオサンショウウオと暮らすための50のこと』が、ネクパブPODアワード2020(株式会社インプレスR&D主催)のグランプリに選ばれました。ネクパブPODアワードは、紙の本を1部単位で印刷・製本できるアマゾンのPOD(プリント・オン・デマンド)によって個人出版された優れた本と作者に贈られる賞。今年は応募があった161点から優秀賞5点選ばれ、『オオサンショウウオと暮らすための50のこと』は最高賞にあたるグランプリを獲得しました。清水准教授は、「我々の研究成果を、より広く、より深く知っていただく媒体として4コママンガ+解説という形にたどり着きました。より多くの方々にオオサンショウウオの現状を知っていただき少しでもその保全に資することができれば。」と熱い想いを発信しています。



アマゾンで販売(税込み1,430円)

ウェブ会議で 「防災・減災研究センター連携自治体会議」を開催しました

6月15日、広島県と県内23市町に加えて、山口県岩国市から危機管理部門の担当者など50人が集まる「令和2年度第1回防災・減災研究センター連携自治体会議」を開催し、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難について意見交換を行いました。会議では、新型コロナウイルス感染拡大防止と防災・減災対策という新たな課題について、広島大学から都市計画、医療、避難情報発信の3つの視点から研究報告がありました。その後、広島県の実地危機管理監から県の感染症対策の最新の状況の報告、自治体から現在取り組んでいる、避難場所の増設や早めの避難を促す対策などについて報告があり、意見交換を行いました。



ウェブ会議の様子

国際アフェクトーム(感情) 研究センターを設置

ストレス医学や脳科学の経験や知見を多く有する本学と、国内外との専門家による本格的な共同研究を実施する拠点として、4月21日、「国際アフェクトーム(感情)研究センター」を設置しました。近年の研究で、ヒトの感情の発生メカニズムに、脳と腸などによる臓器間ネットワークが関与していることが分かってきました。深刻な社会問題であり、ポスト・ウィズコロナで増える可能性がある「うつ」、依存症や引きこもりなどに対し、新しいアプローチによる予防や診断で革新をもたらすことが期待されています。



山脇成人センター長

広島大学発のゲノム編集技術を用いた がんの免疫細胞療法の実用化を目指します

広島大学原爆放射線医学研究所「次世代ゲノム細胞創薬共同研究講座」(設置者Repertoire Genesis社)における遺伝子改変T細胞医薬品の開発プロジェクトが、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)による令和元年度医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)として行われることとなりました。広島大学で開発されたゲノム編集技術を用いて、安全性と有効性に優れたがんの創薬を目指します。



記者会見で説明する一戸辰夫教授

11月7日ホームカミングデーにお越しください



青山学院大学 福岡伸一教授

11月7日(土)に第14回広島大学ホームカミングデーを開催します。当日は青山学院大学の福岡伸一教授による講演「生命を捉えなおす-動的平衡の視点から-」や物産展などを予定しています。新型コロナウイルスの影響で例年とは異なる形での開催となる場合がありますので、お越しになる際は右のQRコードから詳細を事前にご確認ください。



詳細はこちら

つながる! ひろがる! ひろしまの輪

広島大学と地域の皆さんの間につながりが生まれ、広がる中で、新たな発見がきっとあるはず。
「ひろしまの輪」では、地域の皆さんと広島大学と一緒に取り組む活動や
さまざまなイベント情報をお届けします。

広島を中心とした被災地に長期的な支援を届ける

学生ボランティア団体アイリス



「アイリス」は、西日本豪雨災害のボランティアを有志で行っていたメンバーが長期の支援の必要性を感じたことから2018年8月に創設されました。掲げるビジョンは「『ヒトごと』を『自分ごと』にする」こと。発足からこれまで、西日本豪雨災害の土砂出しや家財の運び出し、防災の啓発活動、東日本大震災被災地での集落活性化事業、ボランティア交流サミットの実行委員など幅広い活動を精力的に行っています。そんなメンバーを支えるのは、関わった人たちからの感謝の言葉。「私たちの活動は、ニーズがあって成立するものであり、その場しのぎや自己満足にはいきません。その時だけでなく、その後も長く、そして深く関わっていけるようになることを意識して活動しています」と渉外部の東條太則さん(総合科学部4年)は話します。被災地から困りごとをなくすべく、今後も試行錯誤を繰り返しながら活動を続けていきます。

Information
 活動メンバー: 学生6人 活動日: 毎週火曜(ミーティング)
 Twitter: @irishiroshima
 Facebook: @irishiroshima2018

全ての子どもたちに学びを

さんさん教室(特別支援教育実践センター)

大学院人間社会科学部附属特別支援教育実践センターのさんさん教室では、学びに困難を抱える子どもたちを対象とし学習支援に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で、多くの教育機関が休業する中、小学5年生から中学3年生までの発達障がいを持つ子どもたちに、タブレットPCを活用した教材を提供し、オンライン授業を実施。家庭で容易に調達できるものを利用したり、授業の見通しをワークシートで視覚的に分かりやすく提示したりと、オンラインならではの工夫がされています。また各自の得意・不得意に合わせて、事前・事後学習や多様なリアクションツールを用意。広島大学の学生も授業を行っています。子どもたちにとって自宅学習中の良い刺激となり、広島県内をはじめ、全国からも相談が集まります。「全ての地域で、全ての子どもたちに合った学び方が当たり前になることを目標に、これからも尽力したい」と氏間和仁准教授は語ります。



Information
 活動メンバー: 教員1人、学生28人 活動日: 火曜、金曜、土曜
 TEL: 082-424-7175
 E-mail: ujima@hiroshima-u.ac.jp
<https://uji-lab.blogspot.com/2020/05/0520200515.html>

Reader's View

HU photos Instagramで#広島大学の付いた投稿からお届けします。



2020.5.10
 #アクリル水彩同好会
 #めっちゃ暑なった #クーラー入れた
 投稿者: 広島大学アクリル水彩同好会さん
編集部コメント▶▶
 会えなくてもイラストの中で乾杯!



2020.6.10
 #広島大学馬術部 #馬術部
 投稿者: 広島大学馬術部さん
編集部コメント▶▶
 コロナ禍でも頑張っています。
 新入部員大募集中!

HU photos

広島大学にまつわる写真を#広島大学をつけてInstagramに投稿してください。学生生活のワンシーンや何気ない風景など、テーマは何でもOK! 素敵な写真をお待ちしています。

HU ism

広島大学にまつわるちょっとした逸話やエピソードをアンケートにて募集します。あの頃の懐かしい思い出話や誰かに教えたいくなる広島大学の秘密を教えてください。

投稿
募集!

投稿はこちら



投稿が掲載された方には
**広島オフィシャルトートバッグを
 プレゼント!**



WEBアンケートにご協力ください

読者の皆さまからのご意見、ご要望、情報提供をお待ちしております。いただいたアンケート内容は、今後の誌面づくりに活用させていただきます。

WEBアンケートはこちら

HU-plus 検索

読者プレゼント アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で合計8名様にプレゼント!!
 ※応募締切: 2020年11月30日必着 厳正な抽選の上、商品の発送をもって当選の発表とさせていただきます。

- A 漫画『ワカコ酒』第14巻
新久千映さん直筆サイン入り **2名様**
- B 医系科学研究科 二川浩樹教授の
研究成果活用商品
 - イータック抗菌化スプレーα(イーザイ)
 - L8020乳酸菌ラクレッシュ
チュアブル(ジェクス) セット **3名様**
- C オフィシャルグッズ
広島大学オリジナルクッキー **3名様**



広島銘菓
 せとこもち
 広島大学・尾道市と
 弊社にしき堂が
 共同開発した
 広島銘菓「せとこもち」を
 ご賞味ください。

にしき堂 本店/広島市東区光町1丁目13-23 ☎(082)262-3131(代)
<https://www.nishikido.co.jp> Eメール: info@nishikido.net
 TEL ☎0120-979-161(8:00~18:00) FAX ☎0120-963-161

広島お好み焼、焼きませんか。
お好み焼体験スタジオ
 オコスタ
 本格的な鉄板でお好み焼づくりを体験!
 家族や友人と思い出の1枚を。
 JR広島駅直結だから便利!

otafuku
 予約など詳細はWEBをチェック!
 オコスタ

Balcom Group
<http://www.balcom.jp>

Motorradd Balcom
 MINI
 BalcomBMW
 Harley-Davidson

広島大学への寄附にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

広島大学基金 ※広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金 (広島大学75+75周年に向けて)・応急学生支援金を含む

高額のご寄附をいただいた方

●個人 10億円以上 法人 20億円以上

佐竹 利子 様
「特別栄誉学賞」

●個人 5000万円以上 法人 1億円以上

公益財団法人
広島大学教育研究支援財団
理事長
佐竹 利子 様

一般財団法人
緑風会 様
「学賞」

財団法人渋谷育英会
理事長
小丸 法之 様
「学賞」

矢野 博文 様
「学賞」

●個人 1000万円以上 法人 2000万円以上

晝馬 輝夫 様
「名誉校友」

医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名誉校友」

特定医療法人あかね会
理事長
土谷 晋一郎 様
「名誉校友」

小野 光代 様
「名誉校友」

児玉 治 様
「名誉校友」

越智 光夫 様
「名誉校友」

田中 隆荘 様
「名誉校友」

●個人 500万円以上 法人 1000万円以上

医療法人社団 まりも会
理事長
福井 滋 様
「名誉校友」

医療法人社団 社会医療法人社団 沼南会
理事長
榎谷 鞠子 様
「名誉校友」

安田 克樹 様
「名誉校友」

三嶋 弘 様
「名誉校友」

医療法人社団 友会
理事長
勝矢 博 様
「名誉校友」

小島 敬太郎 様
「名誉校友」

医療法人社団 医療法人せのかわ
理事長
津久江 一郎 様
「名誉校友」

医療法人 藤岡道治 様
「名誉校友」

多布施クリニック
理事長
諸隈 啓子 様
「名誉校友」

星山 政昭 様
「名誉校友」

●個人 100万円以上 法人 100万円以上

医療法人社団みめぐみ会
サンクリニック
理事長
中村 雄二 様
「特別校友」

オタフクソース株式会社
代表取締役社長
佐々木 直義 様
「特別校友」

医療法人恒和会松石病院
理事長
松石 頼明 様
「特別校友」

医療法人社団楓会林病院
理事長
林 淳二 様
「特別校友」

株式会社バルコム
代表取締役
山坂 哲郎 様
「特別校友」

株式会社ダイクレ
代表取締役社長
山本 浩 様
「特別校友」

医療法人辰川会
理事長
辰川 自光 様
「特別校友」

医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様
「特別校友」

医療法人社団知仁会
理事長
石井 知行 様
「特別校友」

株式会社紀陽
代表取締役社長
寒川 起佳 様
「特別校友」

医療法人社団井野口病院
会長
井野口 千秋 様
「特別校友」

医療法人社団榎山小児科
理事長
堀山 泰正 様
「特別校友」

医療法人小田内科クリニック
理事長
小田 弘明 様
「特別校友」

医療法人社団陽正会寺岡記念病院
理事長
寺岡 暉 様
「特別校友」

医療法人社団スマイル
博愛クリニック
理事長
高杉 啓一郎 様
「特別校友」

医療法人社団マッキー
理事長
松木 啓 様
「特別校友」

医療法人昭和田整形外科病院
理事長
原田 昭 様
「特別校友」

株式会社シンコー
代表取締役社長
筒井 幹治 様
「特別校友」

株式会社村上農園
代表取締役
村上 清貴 様
「特別校友」

医療法人社団清流会
理事長
永井 賢一 様
「特別校友」

医療法人KOC
金谷整形外科クリニック
理事長
金谷 篤 様
「特別校友」

大正富山医薬品株式会社
代表取締役社長
藤田 憲一 様
「特別校友」

医療法人明美会
理事長
安本 正徳 様
「特別校友」

Micron Technology
Foundation, Inc. 様
「特別校友」

医療法人ピーアイエー
理事長
中村 英雄 様
「特別校友」

株式会社総合広告社
代表取締役副会長
坪井 高義 様
「特別校友」

医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
「特別校友」

株式会社やまだ屋
代表取締役
中村 靖富満 様
「特別校友」

医療法人社団慈杏会
土肥整形外科病院 様
「特別校友」

医療法人社団伯瑛会
理事長
金田 瑛司 様
「特別校友」

上 真一 様
「特別校友」

大嶋 俊一 様
「特別校友」

常石造船株式会社 様
「特別校友」

広島大学歯学部歯科
補綴学第一講座同門会 様
「特別校友」

山本 佳史 様
「特別校友」

医療法人社団長寿会
はたのリハビリ整形外科
理事長
畑野 栄治 様
「特別校友」

中村 英雄 様
「特別校友」

茶山 一彰 様
「特別校友」

安永 裕司 様
「特別校友」

株式会社日本クライメイト
システムズ
代表取締役社長
松尾 則宏 様
「特別校友」

株式会社桐原容器工業所
代表取締役
桐原 真一郎 様
「特別校友」

株式会社熊平製作所 様
「特別校友」

株式会社中国新聞社
代表取締役社長
岡谷 義則 様
「特別校友」

株式会社内藤建築事務所
代表取締役
川本 雄三 様
「特別校友」

株式会社ユニサス
代表取締役会長
松村 公市 様
「特別校友」

山本 陽介 様
「特別校友」

吉田 総仁 様
「特別校友」

原田 康夫 様
「特別校友」

荒本 徹哉 様
「特別校友」

株式会社上芝
代表取締役
向井 恒雄 様
「特別校友」

山田 道夫 様
「特別校友」

相川 清文 様
「特別校友」

栗栖 長典 様
「特別校友」

相田 美砂子 様
「特別校友」

アカシア会
(広島大学附属高校同窓会) 様
「特別校友」

池永 孝 様
「特別校友」

石井 知行 様
「特別校友」

石崎 信三 様
「特別校友」

医療法人あすか
理事長
高橋 勲 様
「特別校友」

医療法人社団中川会中通病院
副院長
中川 豪 様
「特別校友」

医療法人清泉会
一ノ瀬病院 様
「特別校友」

医療法人たかまさ会
理事長
野上 智行 様
「特別校友」

山崎 正志 様
「特別校友」

内野 弘 様
「特別校友」

鶴野 俊雄 様
「特別校友」

広島アルミニウム工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
「特別校友」

広島県厚生農業協同組合連合会
尾道総合病院 様
「特別校友」

広島日野自動車株式会社
代表取締役社長
上野 孝史 様
「特別校友」

藤本 吉範 様
「特別校友」

松村 誠 様
「特別校友」

河原 能久 様
「特別校友」

北村 拓也 様
「特別校友」

協同出版株式会社
代表取締役
小貫 輝雄 様
「特別校友」

楠 雄治 様
「特別校友」

小池 透 様
「特別校友」

高祖 讓 様
「特別校友」

佐藤 裕子 様
「特別校友」

重山 俊彦 様
「特別校友」

社会医療法人清風会
理事長
梶原 四郎 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

鈴木 孝尚 様
「特別校友」

住田 忠幸 様
「特別校友」

高田 隆 様
「特別校友」

寺本 康俊 様
「特別校友」

天道 俊孝 様
「特別校友」

医療法人清泉会
一ノ瀬病院 様
「特別校友」

野上 智行 様
「特別校友」

早川 武敏 様
「特別校友」

平田 敏夫 様
「特別校友」

広島アルミニウム工業株式会社
代表取締役社長
田島 文治 様
「特別校友」

広島県厚生農業協同組合連合会
尾道総合病院 様
「特別校友」

広島日野自動車株式会社
代表取締役社長
上野 孝史 様
「特別校友」

藤本 吉範 様
「特別校友」

2020年2月から2020年5月までにご寄附をいただいた方

●100万円以上

医療法人 小田内科クリニック
理事長
小田 弘明 様
「特別校友」

医療法人社団 浜中皮ふ科クリニック
理事長
浜中 和子 様
「名誉校友」

藤岡道治 様
「名誉校友」

上 真一 様
「特別校友」

広島大学歯学部 歯科補綴学
第一講座同門会 様
「特別校友」

谷村 秀樹 様
「特別校友」

医療法人社団輔仁会
太田川病院 様
「特別校友」

医療法人翠清会 翠清会柳川病院
会長
梶川 博 様
「特別校友」

医療法人たかまさ会
理事長
山崎 正志 様
「特別校友」

医療法人たんばぽ会
理事長
大嶋 俊一 様
「特別校友」

宇佐 弘 様
「特別校友」

NGOひろしま アジアの子どもの歯を守る会
会長
柄 俊彦 様
「特別校友」

河野 修興 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

医療法人社団 相原 玲二 様
「特別校友」

越智 光夫 様
「名誉校友」

平田 悦江 様
「特別校友」

深澤 清治 様
「特別校友」

楼 潔 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

赤川 安正 様
「特別校友」

医療法人たかまさ会
理事長
山崎 正志 様
「特別校友」

医療法人たんばぽ会
理事長
大嶋 俊一 様
「特別校友」

宇佐 弘 様
「特別校友」

NGOひろしま アジアの子どもの歯を守る会
会長
柄 俊彦 様
「特別校友」

河野 修興 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

河野 修興 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

白築 秀美 様
「特別校友」

白築 俊彦 様
「特別校友」

冠事業基金 (2020年5月現在)

医療法人S.R.C.
中光整形外科リハビリクリニック
院長
中光 清志 様
「特別校友」

医療法人エム・エム会
理事長
白川 泰山 様
「特別校友」

医療法人おち眼科医院
理事長
越智 温子 様